

オリーブジャパンはイタリアの I Sant' Innocenti (子どものための援助協会)、エルサルバドルの FUNDIPRO (見捨てられた児童のための援助協会) と協力し活動に取り組んでいます。各国の働きを紹介します。

-カウンターパートの働き-

Fundipro in サンタテクラ市(エルサルバル) イルサコ市での無料法律相談会

2014 年 3 月 15 日 (土)、FUNDIPRO (フンディプロ: 見捨てられた児童のための援助協会) はサンタテクラ市から車で 1 時間ほどのソンソナーテ県イサルコ市 (エルサルバドル南西部) で無料法律相談会を行いました。相談会は FUNDIPRO の主旨に賛同した 4 人の弁護士が参加してくれ、法律相談はもとより、市民の権利と公的サービスについての情報提供を行いました。訪れた人の大半が市民としての権利や各関連機関の存在を知らず、制度が活用されていないことが分かりました。



上: 財産相続の手続きについての情報提供
土地問題を相談する住民に財産登記の手続きを説明するスタッフ



左: 無料サービスを行う政府機関の紹介

右: 法律相談会のポスター
司法相談 (住民票、戸籍謄本、公正証書他)
対象: イサルコ市民、低所得者
日付: 2014 年 3 月 15 日 (土)
時間: 9:00~13:00
場所: イサルコ市 旧町役場

Asesoría legal en Izalco

ONE WAY



JORNADA DE ASESORIA LEGAL
En material registral, civil, familia, notarial

Organizado en cooperación con el Ministerio de Justicia

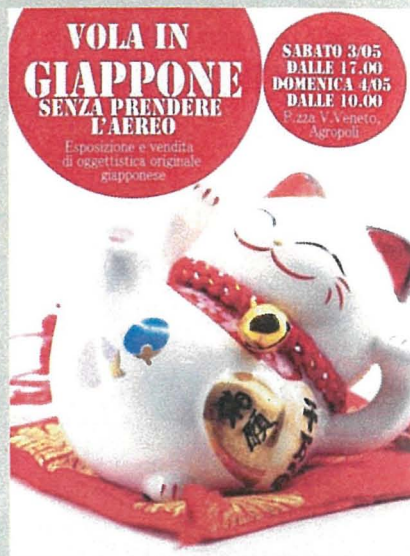
Día: sábado 15 de marzo de 2014.
Hora: de 9.00 am a 1.00 p.m.
Lugar: Ex casa comunal de Izalco

JAPAN MARKET in アグロポリ(イタリア) 「飛行機に乗らずに日本へ行ける? 行けます!」

アグロポリ (イタリア、カンパーニャ州) では春から月一回、メイドインジャパンの品物のみを販売する Japan Market を開催しています。日本のオリーブジャパンと友達の協力によって、たくさんの日本の品物が送られてきました。職人の手仕事による独特の品々がアグロポリで評判になってきています。絹の着物を着た日本人形、装飾羽子板、陶磁器、巾着や扇、下駄、風呂敷、和紙のカードなど、お客様は興味津々に、真剣に品定めをしています。そして日本の現状、文化や風習などの沢山の質問をいただきます。はるばる東方からやってきた品物を通して、町の人々と交流するチャンスを提供しています。収益金は小さな出版社 officina delle 11 の文化活動資金として遣われます。実りの多いこの活動をこれからも続けていきたいと願っています。



など、お客様は興味津々に、真剣に品定めをしています。そして日本の現状、文化や風習などの沢山の質問をいただきます。はるばる東方からやってきた品物を通して、町の人々と交流するチャンスを提供しています。収益金は小さな出版社 officina delle 11 の文化活動資金として遣われます。実りの多いこの活動をこれからも続けていきたいと願っています。



スタッフ: 美代子・デ・マルコ

上: Japan Market のポスター

5月6日・文化講演会

憲法9条とわたしたち

—戦争放棄・平和の源流をさぐる—
「和をもって貴しとなす」

講師 三本木國喜氏

7月1日、内閣は集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更の閣議決定をしました。政府の方向性に私たちは大きな不安を感じています。戦争放棄と戦力不保持を明記している憲法9条について今一度考えるため、瀬戸憲法9条の会、うのていをオイコノミア研究所所長の三本木國喜さんにお話していただきました。

日本の平和思想の源流

「戦争放棄」という言葉は、戦後に新しい憲法が出来たときに初めて生まれましたが、それ以前も戦争はしないということをしきりに語っていた人たちがいました。一番最初の人には聖徳太子です。日本で最初に憲法ができたのは604年ですから、この十七条憲法ができたのは、今から1400年前です。この十七条憲法の第1条は副題にもあります『和をもって貴しとなす』、これをもってこの国を平和な国にしたい、それが一番大事だと言いました。

明治になって、日本に民主主義を導入しようという運動がものすごく盛んになりました。日本全国のすべての県に200余りの結社・運動体が出来ました。明治10年前後です。明治になってから政府のやり方にどうもあれば危なっかしい、ごり押しで自分たちの天下だということで無茶をやっていると。今の内閣みたいですね。そうではなくて、みんなの気持ちを一つにして、民主主義の日本にしようとして試みた人たちがたくさんいました。結局その運動は潰されてしまいましたが、その自由民権運動の中で、中江兆民なども『軍備撤廃論』を発表しました。その後、日清、日露戦争と日本はどんどん戦争の時代に入ってしまった。特に日露戦争の時、「戦争をしない」と一生懸命説いた人がいました。警察に捕まえられ、刑務所に入れられてしまう恐れを顧みずに非戦論を主張し続けた人がいます。内村鑑三などがそうです。幸徳秋水の非戦論と内村鑑三の非戦論は、その日露戦争前夜の代表的な二つの議論として歴史に残っています。日露戦争勃発前後、平民新聞のコラム欄に幸徳秋水が書いたと思われる「非戦論の目的」が掲載されています。戦争が始まったら、それを早くやめて平和を回復する方向に持って行く、これが大事だ。それからその原因になるのは経済の問題が大きい。戦争になるような経済にしないようにすべきなんだということを皆に説いてまわる、これが非戦論の役目だと。非戦論というのは戦争が始まってからでも、むしろ始まってからこそ必要だと。これが平和思想の源流です。こういう伝統を踏まえ、平和憲法として日本の新しい憲法ができました。アメリカから押し付けられたとか、そんなことではありません。1400年前から聖徳太子がちゃんとそこまで言っているのだから、私たちはそれを守っています。

世界平和の礎

パリ不戦条約というのがあります。正確に言うと「戦争放棄に関する条約」。1928年、今から90年前に世界中の国が集まり、60カ国がちゃんとこれを調印しました。日本もそのあくる年、1929年に調印しています。その第1条が「戦争放棄」で、「そ



れぞれの国は国際紛争の解決のため戦争に訴える事を非とし、且つその相互関係において国家の政策の手段としての戦争を放棄することをその各自の人民の名において厳粛に宣言する」。これはまさに憲法9条です。つまりパリ不戦条約の精神に従って憲法9条が出来ています。これが今の世界の平和の基礎になっています。どこの国もこれに反してはいけません。したがってこれ以降、戦争という名前の事件が起きたのは日米開戦だけです。そのほか建前上は、戦争をしていません。あの国が悪いことをしているから、懲らしめるために国際警察みたいな多国籍軍を出すという名目で事実上の戦争に入っています。それまでは満州事変、支那事変、上海事変、みんな事変という言い方で中国大陆を侵略しました。今でもアフガニスタン、イラクやアフリカのどこやにアメリカが軍隊を出す時も、戦争をしに行くとは言いません。その国の国民がひどい目にあっているから助けに行くんだと、こういう言い方でアメリカは軍隊を出している。あれだけ世界中に武力進出しているアメリカも、この不戦条約は守らなければいけません。こういう重要な国際条約に従って国連ができています。

戦争放棄の悲願—正しいもの程強いものはない—

現在、秘密保護法の強行採決にみられるように、非常に大変な時代がきていますが、「我々は決して負けないよ。最後に勝つのは自分たちだ」と皆さんに自信を持っていただきたいです。ある修道院のシスターが会議でこんな発言をしました。「私たち庶民は何度でも負ける事が出来る。それが私たちの戦い方だ。負けては立ち上がり負けては立ち上がる。そうして最後に勝つのが私たちの勝利だ」と。そういう意味で今は非常に大きな反動の流れが押し寄せてきています。それにひょっとしたら負けてしまうかもしれないという危機感が我々にもあります。しかし最後はシスターが言うように我々が勝つんだと奮い立たせます。なぜなら、憲法発布直後、文部省が国民に配布した『あたらしい憲法のはなし』にも書いてあるように、「日本は戦争放棄という正しいことを世界に先駆けてやりました。正しいことほど強いことはありません。だから皆さん方は軍備がなくても、戦争の道具がなくても何にも心配することはありません。世界中の人たちが私たちを応援してくれます。」そんなふうになんと文部省が書いているんです。そういうことで日本の平和の思想、戦争放棄の悲願が、千年以上前から日本国民を励ましています。我々の大きな希望となって今の運動ができている、ということをお皆さんも忘れないでいただきたいです。

(講演会記録より一部抜粋)

春のチャリティーバザー 5月4・5日



私は今回初めてバザーに参加しました。きっかけはオリーブジャパンスタッフの姉の手伝いという事でしたが、驚いたことがいくつもあります。まず、こんなにも自分と同世代の若い人達が、貧困に苦しむ子どもたちの為に熱意を持って働いているという事です。学生の方もいらっしゃいますが、大半はそれぞれに仕事をしている社会人の方方で、皆さん忙しいにも関わらず時間を作って活動しています。同じ志を持った仲間や人との繋がりを大切に、声を掛け合い、助け合って活動している姿を見て心打たれました。また、空いた時間や終わった後に活動内容などを伺うと、目を輝かせながら真剣に話してくださり、自分の無知と世界の現状に驚きました。

同時に開催していた福島の写真展も、原発の恐ろしさ、自然の猛威、ニュースでは報じられない現状、自分の中でも風化してしまっていた事実、そのすべてに心揺さぶられました。「自分ひとりでは何もできないから…」と今まで思っていたのですが、「こんなにも沢山の“想い”があれば何か変わるのかもしれない…」そう思わせてくれるバザーでした。

藤松 絢子



城北橋教会みこころバザー 6月1日

6月1日(日)、城北橋教会のみこころバザーに参加させて頂きました。会場入口にはたくさんの方が朝早くから列を作り、開店を待っていらっしゃいました。寄付していただいた陶器・雑貨・洋服類が机いっぱい並び、楽しそうに買い物をされる方が多くみられました。

収益金は全てエルサルバドルのみつばち保育所の教育支援金として遣われます。バザーに招いてくださった城北橋教会信徒の皆さま、ご来場くださったお客さまにお礼申し上げます。

(オリーブジャパンスタッフ)



Information



物品を集めています

CHARITY BOUTIQUE

◇服、バック、生活雑貨などお譲りいただけませんか◇

中米の貧困に苦しむ子どもたちのためのチャリティーブティックを定期的に開催しています。ご家庭にある、衣類やくつ、バッグ、日用品などを集めています。

ご協力いただける方は TEL080-4306-1057(山田) までご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。



絵画講座

毎月1回(土曜日)17:30~

場所：本山生協会館（地下鉄 本山駅下車）

アットホームな雰囲気の中で
季節の花や果物を自由に描いてみませんか？
それぞれの個性を生かす指導が受けられます

★詳細は下記連絡先まで

※各文化講座は事前のお申し込みが必要です。
お問い合わせは TEL080-4306-1057 (山田)
までご連絡ください。



南イタリア料理講座

身近な材料で簡単で美味しい
南イタリアの家庭料理を作ります
初心者から料理好きまで大歓迎！



会員募集

オリーブジャパンの活動に賛同していただける会員の方を随時募集しています。

- ・ 賛助会員（一ヶ月一口 10,000 円）
- ・ 正会員（一ヶ月一口 5,000 円）
- ・ 協力会員（一ヶ月一口 2,000 円）
- ・ 参加会員（一ヶ月一口 1,000 円）
- ・ 同調会員（一ヶ月一口 500 円）

郵便振込用紙に必要事項と会員の種類、納入方法
（月払い／年一括）をご記入の上、会費を納入ください。

振替口座番号

00890-1-24582

会員の皆様には、会報「オリーブ・プレス」と講演会、
バザー等のご案内を優先的にさせていただきます。

*お問い合わせは、下記連絡先まで
オリーブプレス Vol.19 2014年7月発行

オリーブジャパン国際開発協力協会 olivejapan80@hotmail.com 編責：オリーブプレス編集部